

立 命 館 言 語 文 化 研 究

23 卷 2 号

目 次

秋季連続講座「グローバル・ヒストリーズ—国民国家から新たな共同性へ」

第 1 シリーズ「トランスアトランティック／トランスパシフィック」

第 1 回「グローバル・ヒストリーズとは何か

—トランスアトランティック／トランスパシフィックな視点をもとに」

《グローバル・ヒストリーズ》をめぐって

—トランスアトランティック／トランスパシフィックな視点をもとに…… 崎山政毅 (1)

コーヒーの味は歴史が決める—グローバル・ヒストリーのアプローチ—…… 小澤卓也 (9)

第 2 回「日本を《太平洋》から眺める」

小笠原 - 硫黄島から日本を眺める

—移動民から帝国臣民, そして難民へ—…………… 石原 俊 (27)

歴史の外部と倫理—グローバル・ヒストリーの歴史哲学によせて—…………… 森 宣雄 (39)

コメント 「捨て石」としての小笠原? …………… Charles FOX (61)

第 3 回「平和構築のために—ジェンダー・アプローチの可能性」

戦時性暴力の被害者から変革の主体へ

—中米グアテマラにおける民衆法廷の取組み—…………… 柴田修子 (71)

南アフリカの真実和解委員会と女性たちの証言…………… 坂本利子 (83)

第 4 回「カリブは周縁か」

はじめに…………… 西 成彦 (93)

「高度必需」とは何か?

—フランス海外県からポストコロニアル状況を考える—…………… 中村隆之 (101)

キューバ, 肯定の詩学と否定の詩学…………… 久野量一 (113)

カリブ海のユートピア／ディストピア…………… 鈴木慎一郎 (121)

イアン・F・マクニーリー氏招待講演会

<原文> Wilhelm von Humboldt and the World of Languages …………… Ian F. MCNEELY (129)

<翻訳> ヴィルヘルム・フォン・フンボルトと言語の世界

…………… イアン・F・マクニーリー (講演) / 石田文子 (訳) (149)

質疑応答…………… (167)

ジェンダー研究会シンポジウム

バックラッシュ時代の平和構築とジェンダー —「女性国際戦犯法廷」10 年を迎えて—

はじめに…………… 池内靖子 (171)

I 部 戦時性暴力／日常の性暴力

沖縄からの報告—米軍基地の現状と米兵によるレイプ事件—…………… 宮城晴美 (179)

戦時性暴力 / 日常の性暴力—南京ワークショップからの報告—	村本邦子 (183)
宋神道さんと共に裁判をたたかって	梁 澄子 (187)
性暴力, 植民地支配, 日米同盟—女を乱用する支配—	鄭 暎恵 (193)

Ⅱ部 歴史と言説—「慰安婦」問題と関連して

「慰安婦」・公娼の境界と帝国の企み	宋 連玉 (203)
日本軍「慰安婦」と米軍基地村の「洋公主」	
—植民地の遺産と脱植民地の現在性—	LEE Na-Young (李 娜榮) / 呉 仁済 (訳) (209)
韓国人「軍慰安婦」問題について日本政府の責任を求めることは民族主義の発露なのか	
—体系的強かんの植民地性 (coloniality) —	
	YANG Hyunah (梁 鉉娥) / 金 友子 (訳) (229)
「慰安婦」問題と日本の民主化	岡野八代 (247)

Ⅲ部 全体討論

全体討論	司会 崎山政毅・池内靖子 (261)
------	--------------------

個別論文

Autonomous Student Learning Groups: Aims and Outcomes	Richard SILVER (285)
The Desert Within: Searching for Union in Paul Bowles' <i>The Sheltering Sky</i>	
	Christopher SUMMERVILLE (307)
時を表す表現—「トキニ」をめぐって—	澁谷きみ子 (319)